

その子らしく生きられる場

— 学齢期につなぐ支援をめぐる —

わたしは、うちの子を通常級に入れたいの。
うちの子、支援級のほうがいいのかなあ。
うちの子がいたら、みんなに迷惑だろうか。
うちの子は、今のクラスで楽しいのかしら？
うちの子のことを、あきらめたわけではないんだけど・・・

親だからこそ、いろんなふうに迷います。

親だからこそ、頑固になりたくなります。

学校に入ってから「うちの子」の居場所について考えてみましょう。

平成 29 年
12 月 10 日 (日)
13 時 ~ 16 時
東京女子大学
23101 教室

話題提供者：保護者数名 小学校教員数名
(募集します、裏面を参照してください)

助言者：河北総合病院小児科 勝盛 宏 氏

司会：東京女子大学教授 田中 健夫 氏

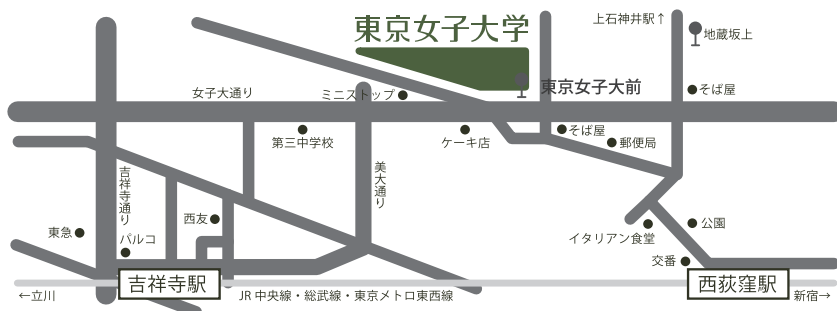
参加対象：発達障害児の理解と支援に関心のある方

参加費：無料 直接会場にいらしてください。

問い合わせ先：杉並区立こども発達センター
療育相談担当 TEL:03-5317-5661

今回は、小学校における居場所をどんなふうに見出していくのか、その過程でどんな支援が必要であるか、就学前のどのような支援が学齢期の生活のプラスになるのかということをご一緒に考えていきたいと思います。今年度も昨年度と同様に、子育て中の保護者の方のお話をうかがっていきます。通常級に在籍していたり、通級をしていたり、また、固定級に所属していたりするいわゆる「グレーゾーン」の子ども、あるいは発達障害がある子どもを育てている保護者の方からたくさんのお話を聞かせていただきましょう。また、学校でのそうした子どもの居場所について、教員の立場から気づいたことについても発言していただきます。就学の前後をつなぐ支援の現場の皆さんの声もふまえて、学齢期に向けた支援のあり方について、いっしょに考えていきましょう。

主催 杉並区
後援 東京女子大学



JR 中央線西荻窪駅下車 12 分 バス利用のときは北口より吉祥寺駅行で東京女子大前下車

平成 29 年度杉並区発達障害児地域支援講座 支援者実践報告会

話題提供者、ポスター発表者申込書

今回のテーマについて話題提供をしていただける学齢期のお子さんをお持ちの保護者の方、小学校の教員の方、ならびに当日のポスター発表を希望される事業者のかたを募集します。

希望者は下記にご記入のうえ、11月7日までに、メール（jissenhoukokukai@gmail.com）までお送りください。

なお、今回の「保護者」に関しては、特別支援学校以外に通われている児童の子育てをなさっているかたを対象とさせていただきます。

に✓をおねがいします。

あなたは 発達障害の診断をうけた学齢期の子どもを育てている保護者

お子さんの在籍は（通常級のみ、通級、固定級）

診断は受けていないがいわゆる「グレーゾーン」の学齢期の子どもを育てている保護者

お子さんの在籍は（通常級のみ、通級、固定級）

小学校の通常級で発達障害、あるいは「グレーゾーン」の児童の担当をしたことのある教員

小学校の特別支援学級などで上記のような子どもを担当したことのある教員

発達障害の幼児、児童を支援している杉並区内の支援事業者

（事業者名

）

実践報告会で話題提供者となる希望が ある なし

実践報告会でポスター発表をする希望が ある なし

話題提供者を希望とする保護者の方は、①学齢期の居場所（通常級、通級、固定級、支援学校など）をどのように見出していったか、その過程での困り感や役に立ったことはどんなことか ②今からふりかえり、就学前に必要であった支援とはどのようなものであるか。

教員の方は、①小学校において、どのような居場所をグレーゾーンの子どもたちに提供していきたいと考えているか、②就学前の支援とどのように連携をとる必要があると思うか。支援事業所の方は①学齢期に向けてどのような支援を事業所では行っているか、②小学校とどのような連携をこころがけているか、についてご記入ください。

①	②
---	---